

—資料編 目次—

1	需給バランス推計の考え方と推計結果	
1. 1	需給バランスの定義と推計方法	2
1. 2	需給バランスの推計結果	6
2	リサイクル関連事業に関する実態調査結果	
2. 1	アンケート調査の概要	14
2. 2	アンケート調査の結果	15

## 1 需給バランス推計の考え方と推計結果

### 1. 1 需給バランスの定義と推計方法

#### (1) 供給、需要、需給バランスについて

- 本方針においては、「供給量」及び「需要量」を次のように定義し、需給バランスを推計した。

○供給量：発生した循環資源のうち、排出者以外の者が循環的な利用ができる可能性がある量とした。つまり、循環資源の現状の流れにおいて、委託処理・処分される量だけではなく、排出者が自ら最終処分している量や保管している量も含むものとした。

一方、排出者が自ら、減量化、再生利用を行っている分については、従来どおり排出者において実施されるものと考え、ここでの供給量には含まないものとした。

○需要量：循環資源の排出者以外の者がそれを受け入れて処理できる量とした。つまり、既存の循環的利用施設の受入・処理可能量（ポテンシャル）とした。

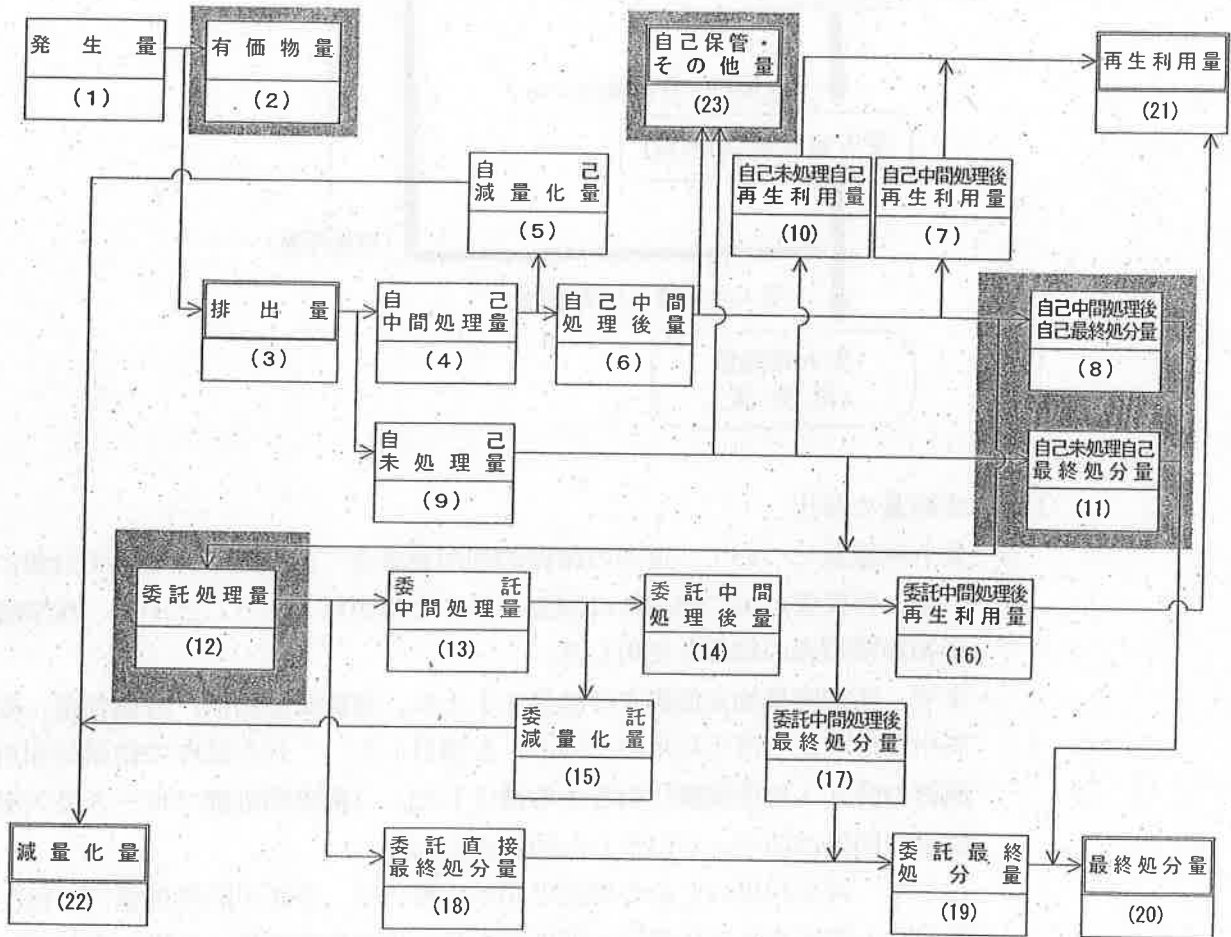
また、排出者が自ら減量化、再生利用を行っている分については、供給と同じ考え方にもとづき、既存の循環的利用施設のポテンシャルには含まないものとした。

(2) 推計の方法

〈供給量について〉

- 供給量については、産業廃棄物実態調査の結果をもとに、地域別、循環資源別に、該当する項目の量を集計した。
- 廃棄物処理フロー（上記実態調査の結果をもとに、廃棄物の発生及び処理状況を流れ図に示したもの）と供給量の関係（該当する項目）は下図のとおり。
- 下表の「供給可能量」を需給バランス推計時の「供給量」として用いた。

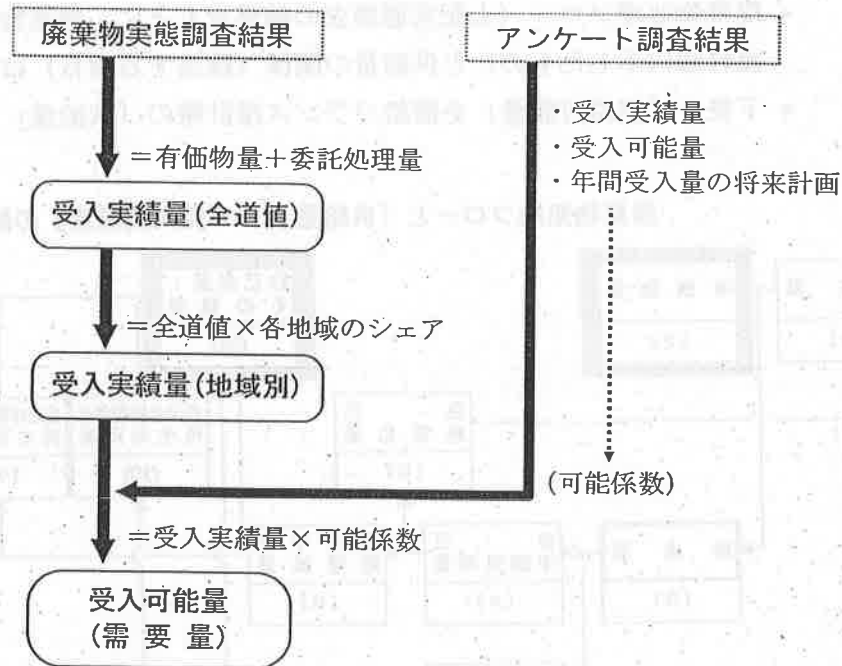
廃棄物処理フローと「供給量」・「受入実績量」の関係



供給可能量	= 有価物量(2) + 委託処理量(12) + 自己最終処分量(8, 11) + 自己保管・その他量(23) (図表の網掛け部分)
受入実績量	= 有価物量(2) + 委託中間処理量(13) (再生利用のための)

〈需要量について〉

- 需給バランスにおける「需要量」、つまり既存の循環的利用施設の受入可能量を推計するに当たっては、まず、既存施設の受入実績量を算出し、それをもとに受入可能量を推計した。



① 受入実績量の算出

- 受入実績量について、道内の循環的利用施設全てを把握し、それを対象にして、循環資源毎に網羅的に調査することは困難であることから、産業廃棄物実態調査の結果を使用した。
- まず、産業廃棄物実態調査の結果をもとに、循環資源別に、有価物量、委託中間処理量（再生利用のための）を集計した。これを既存の循環的利用施設の受入・処理実績に相当する量とした。（廃棄物処理フローと受入実績量の関係は前ページに示した図表のとおり）
- ここで、再生利用のための委託中間処理量とは、委託中間処理量に、再生利用分と想定される比率（=再生利用量÷中間処理後量）を掛け合わせた量とした。
- この受入実績量は、あくまでも全道値として算出されるものであることから、次に、循環資源毎の地域間移動量（事業者中間処理量）をもとに地域別の処理量を算出し、全道値に対する各地域の比率を設定した。（動物のふん尿を除く。）
- この比率を用いて、上記で算出した受入実績量の全道値を地域別に振り分けた。これを各地域における受入実績量とした。

• ②受入可能量（需要量）の推計

- 上記①の量はいくまでも現状の実績であり、実際は、今以上に受け入れることができる施設もあれば、逆に減らしたいという施設も存在する。この点も勘案したものが本来の需要量（ポテンシャル）ということができる。
- このため、今般実施したアンケート調査による、既存施設の「受入実績量」、「受入可能量」、「年間受入量の将来計画」の回答をもとに、地域別、循環資源別に、受入実績量に対する可能量（ポテンシャル）の比を設定した。ここでは、この係数を「可能係数」とする（算出方法は次項）。
- 上記①の受入実績量にこの可能係数を掛け合わせた量を「需要量」として用いている。

• ③可能係数について

- アンケート調査で把握した「受入可能量」及び「年間受入量の将来計画」をもとに各事業者の今後の受入可能量を推計し、地域別、循環資源別に集計して、受入実績量とそれぞれ割り算（可能量÷受入量）したものが「可能係数」である。
- 可能係数の一覧は下表のとおり。（サンプルが存在しない、あるいは得ることができなかった区分については、全道値を表記・利用した）

需要量推計に用いた「可能係数」

	燃え殻・ばいじん	汚泥	廃プラスチック	木くず	動植物性残さ	がれき類	動物のふん尿
01石狩	1.00	1.21	1.19	1.10	1.14	1.04	1.01
02渡島	1.00	1.04	1.00	1.87	0.14	0.99	1.02
03檜山	1.00	1.15	1.28	1.44	1.06	0.92	1.02
04後志	1.00	1.20	1.08	1.00	1.10	1.30	1.02
05空知	1.00	1.00	1.65	1.32	0.98	0.79	1.00
06上川	1.00	1.35	1.63	1.36	1.04	1.02	1.00
07留萌	1.00	1.15	1.20	1.02	2.00	0.98	1.02
08宗谷	1.00	1.15	1.20	1.15	1.21	1.13	1.02
09網走	1.00	0.99	1.05	1.14	0.99	1.16	1.01
10胆振	1.01	1.15	1.49	1.08	0.99	1.15	1.00
11日高	1.00	1.50	1.28	1.09	3.50	0.94	1.00
12十勝	1.00	1.18	1.84	1.08	1.62	0.89	1.09
13釧路	1.00	1.46	1.39	1.43	1.00	1.30	1.00
14根室	1.00	1.48	2.00	1.54	1.29	0.81	1.02
全道	1.00	1.15	1.28	1.19	1.06	1.02	1.02

〈推計対象について〉

- ここでは、以下の7種類の循環資源を対象として需給バランスを推計した。

①燃え殻・ばいじん	④木くず	⑦動物のふん尿
②汚泥	⑤動植物性残さ	
③廃プラスチック	⑥がれき類	

- これらの循環資源は、北海道廃棄物処理計画の産業別処理方針に関連する主要なものであり、排出量が20万トンを超える比較的排出規模の大きい循環資源である。この7種類の排出量及び最終処分量を合わせると、排出量全体の約97%、最終処分量全体の約80%を占めている。

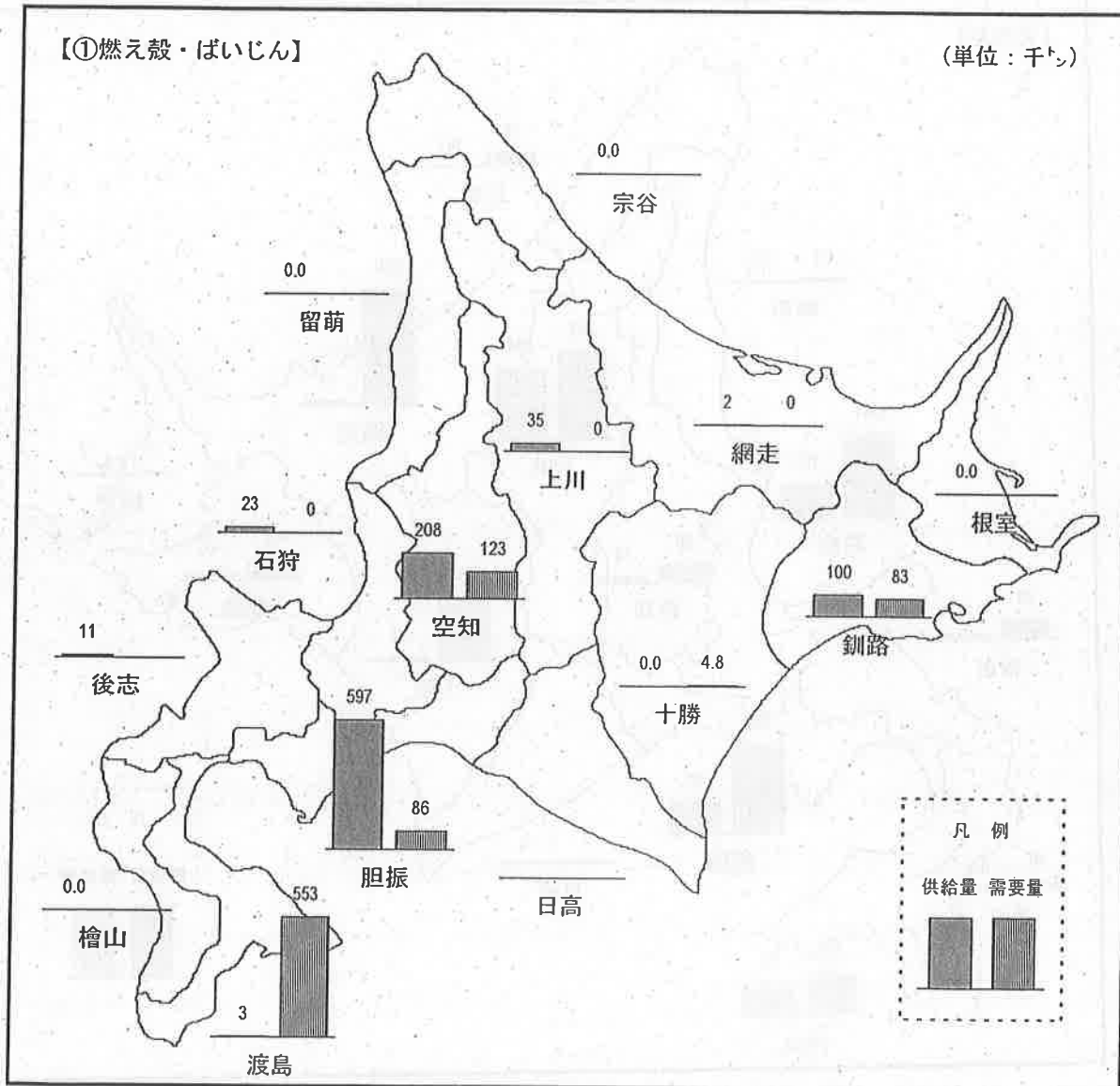
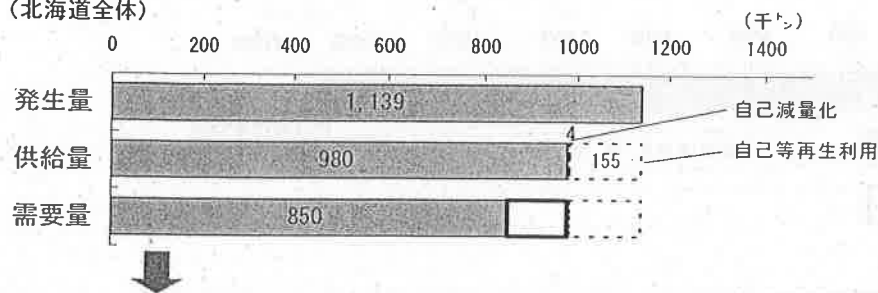
1. 2 需給バランスの推計結果

- 需給バランスは、1の要領で推計した「供給量」から「需要量」を差し引いた量とする。推計結果は以降に示すとおり。

資源種別	供給量	需要量	需給差	需給差率	備考
燃え殻・ばいじん	100,000	100,000	0	0%	
汚泥	100,000	100,000	0	0%	
廃プラスチック	100,000	100,000	0	0%	
木くず	100,000	100,000	0	0%	
動植物性残さ	100,000	100,000	0	0%	
がれき類	100,000	100,000	0	0%	
動物のふん尿	100,000	100,000	0	0%	
合計	700,000	700,000	0	0%	

需給バランス推計結果 (①燃え殻・ばいじん)

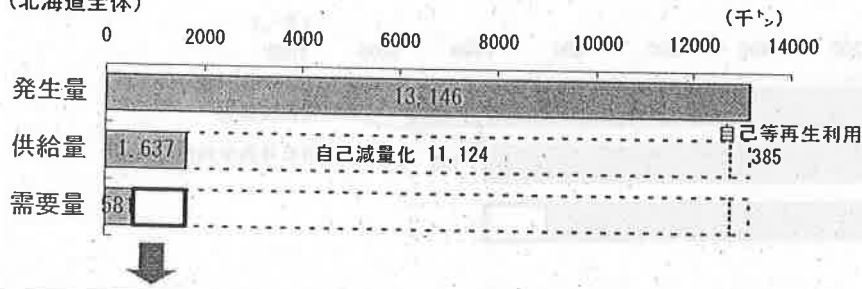
(北海道全体)



(単位: ト)							
支庁	供給量	需要量	需給バランス	支庁	供給量	需要量	需給バランス
石狩	23,167	0	23,167	宗谷	0	0	0
渡島	2,970	553,208	-550,238	網走	2,478	82	2,396
檜山	1	0	1	胆振	597,010	85,953	511,057
後志	10,723	0	10,723	日高	9	0	9
空知	208,469	123,482	84,987	十勝	29	4,836	-4,807
上川	35,060	0	35,059	釧路	99,653	82,903	16,751
留萌	0	0	0	根室	25	0	25
				全道	979,595	850,464	129,130

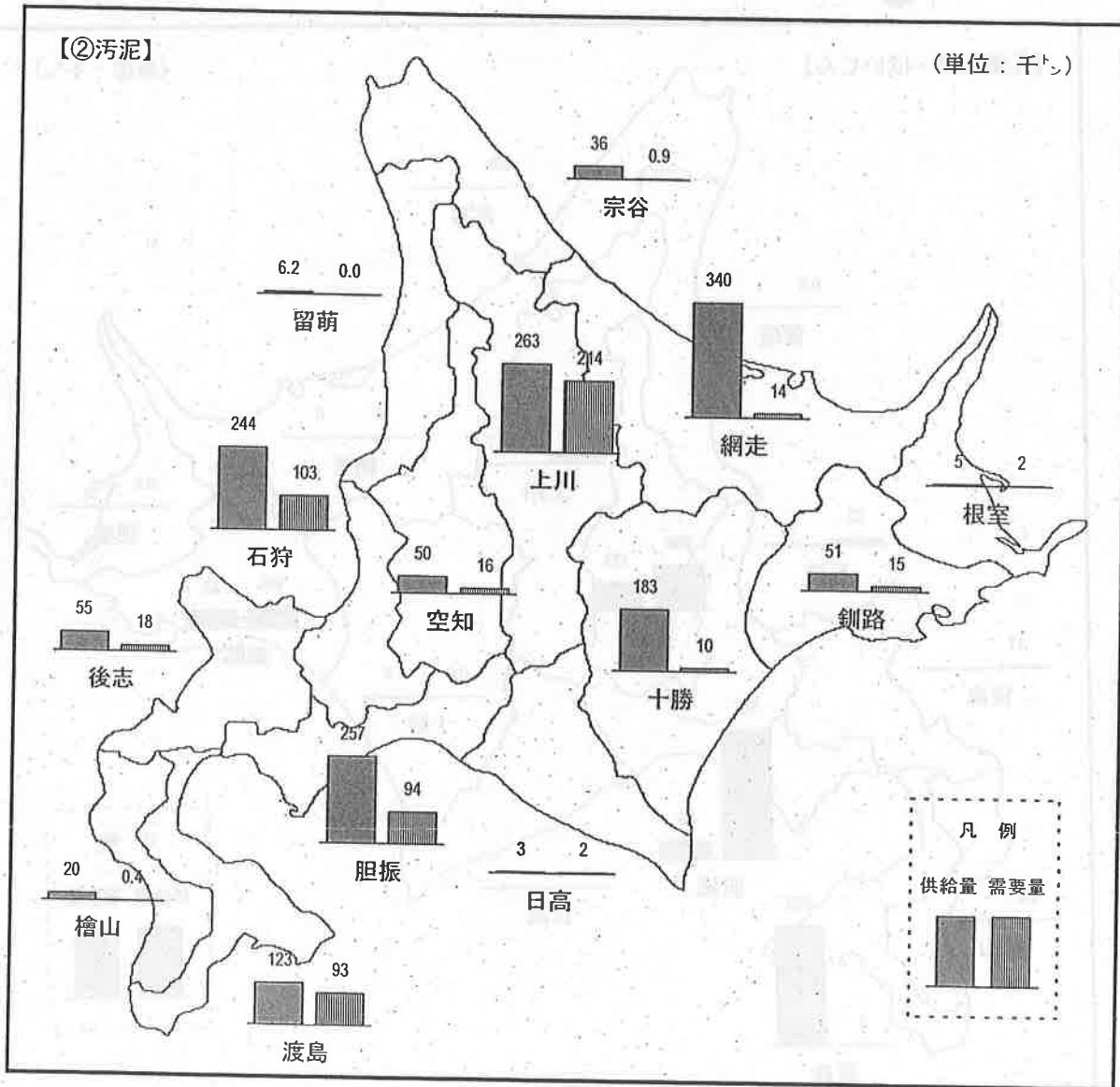
需給バランス推計結果 (②汚泥)

(北海道全体)



【②汚泥】

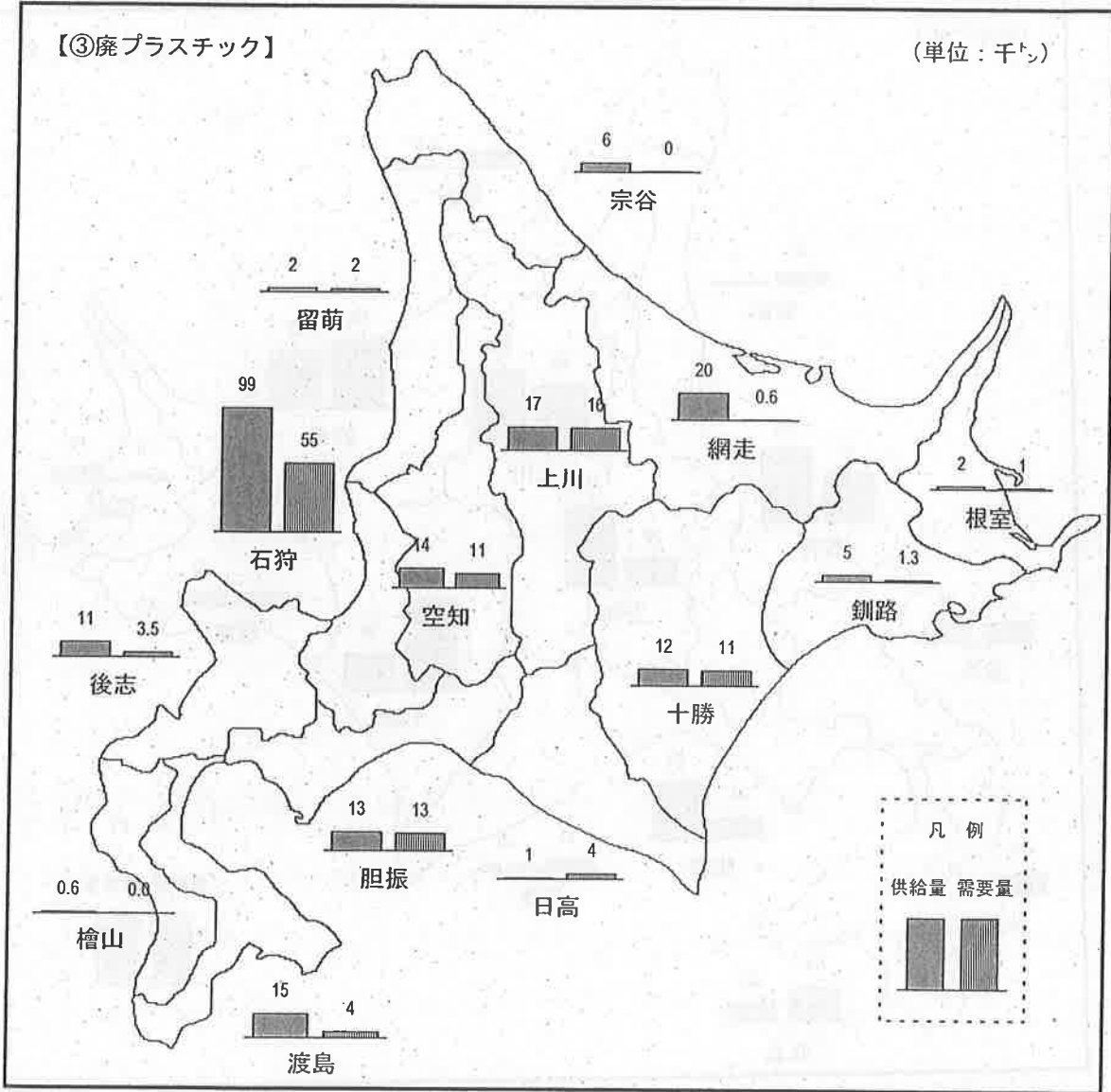
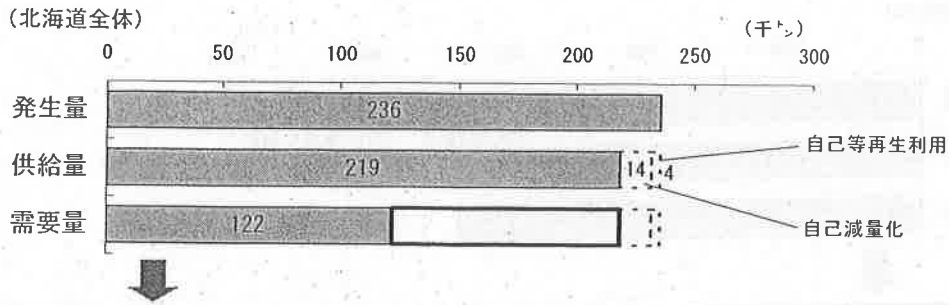
(単位：千ト)



支庁	供給量	需要量	需給バランス	支庁	供給量	需要量	需給バランス
石狩	244,232	102,542	141,690	宗谷	36,298	927	35,371
渡島	122,976	93,022	29,954	網走	339,847	13,967	325,880
檜山	19,921	368	19,553	胆振	257,169	93,611	163,557
後志	55,155	17,548	37,607	日高	3,312	1,553	1,759
空知	50,481	16,120	34,361	十勝	182,806	9,989	172,817
上川	262,619	214,269	48,350	釧路	50,949	15,114	35,835
留萌	6,155		6,155	根室	4,769	1,589	3,180
全道	1,636,689	580,621	1,056,068				



需給バランス推計結果 (③廃プラスチック)

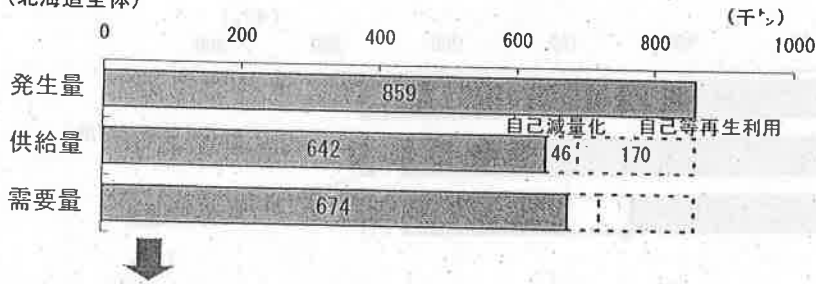


(単位：t)

支庁	供給量	需要量	需給バランス	支庁	供給量	需要量	需給バランス
石狩	99,493	54,944	44,549	宗谷	6,365	273	6,093
渡島	15,457	3,580	11,877	網走	19,692	622	19,070
檜山	560	8	552	胆振	13,299	12,659	639
後志	10,884	3,476	7,408	日高	932	3,936	-3,004
空知	14,314	10,509	3,804	十勝	11,899	11,131	768
上川	16,739	16,453	286	釧路	4,552	1,316	3,236
留萌	2,418	1,970	449	根室	2,113	904	1,209
				全道	218,717	121,781	96,937

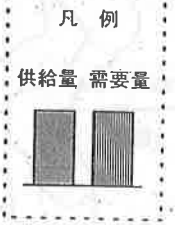
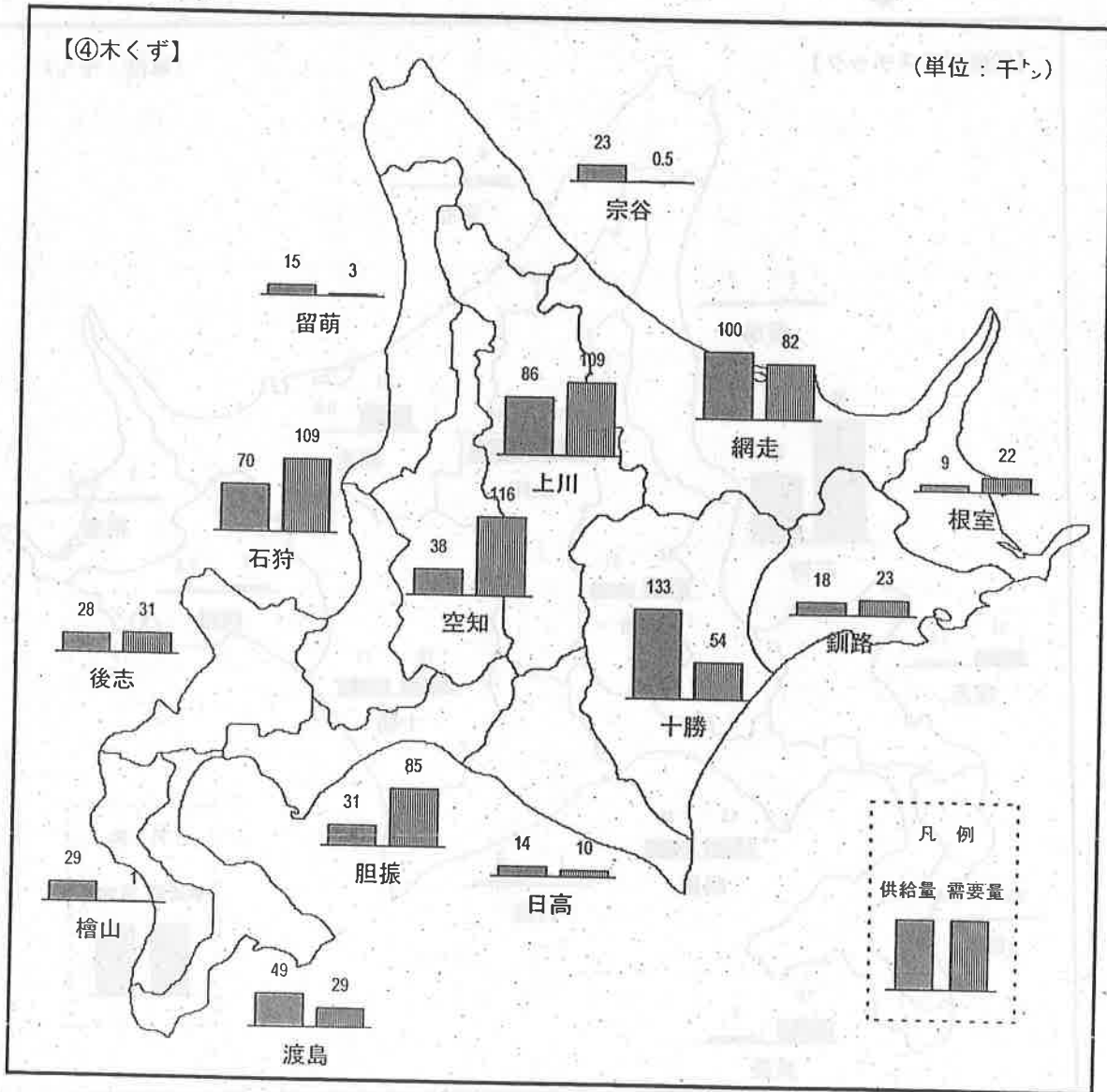
### 需給バランス推計結果 (④木くず)

(北海道全体)



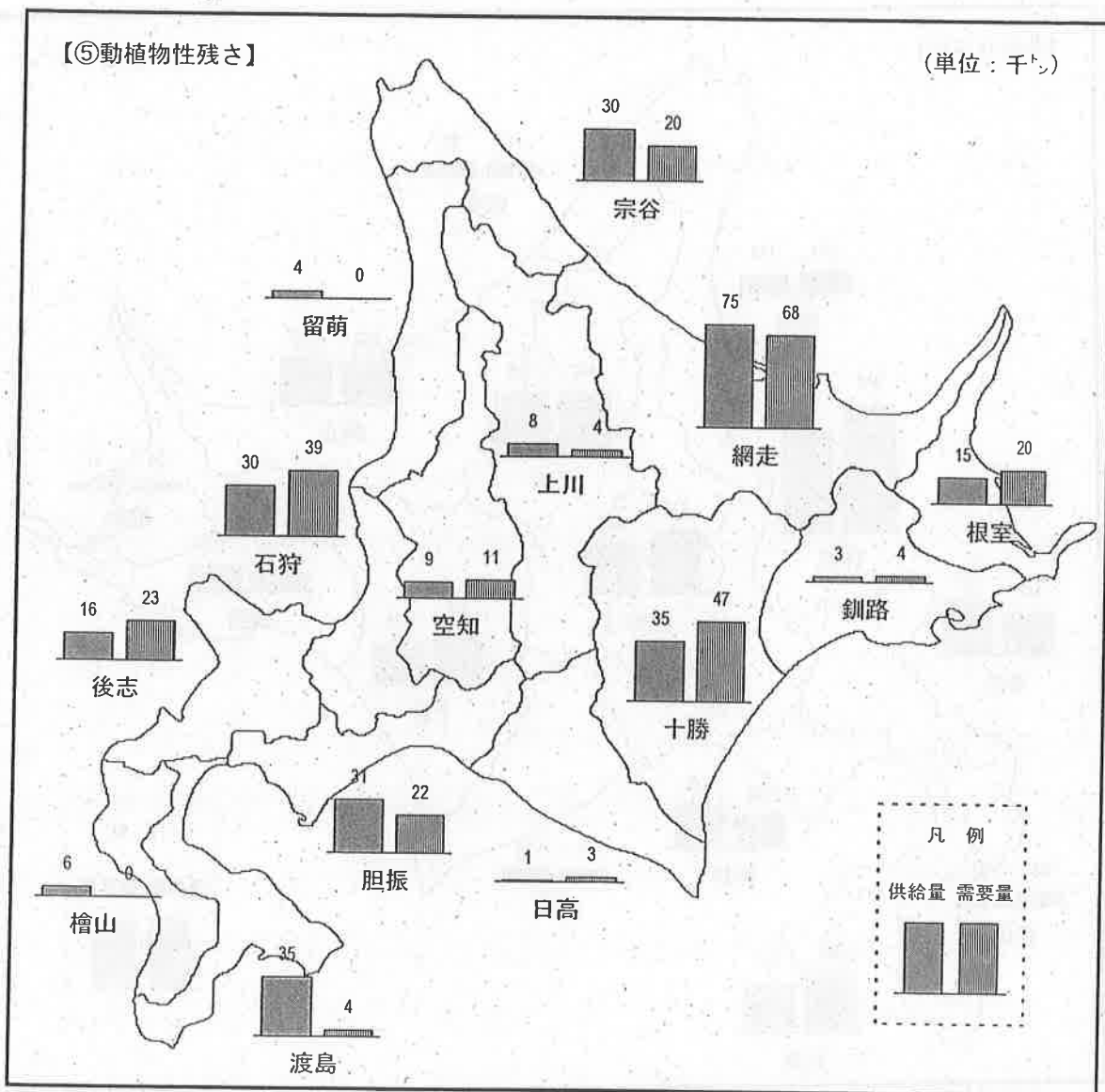
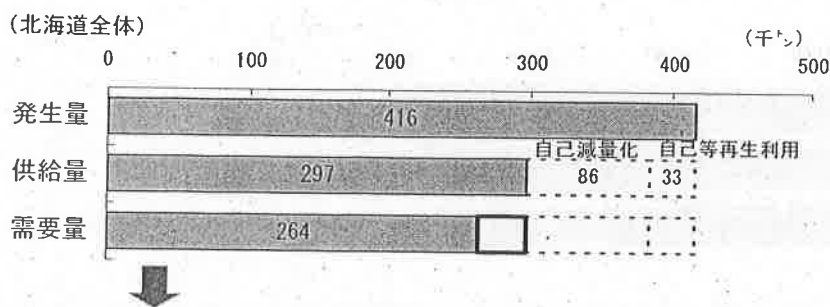
【④木くず】

(単位：千t)



支庁	供給量	需要量	需給バランス	支庁	供給量	需要量	需給バランス
石狩	69,863	108,964	-39,102	宗谷	23,235	463	22,773
渡島	49,084	28,678	20,406	網走	99,801	82,411	17,390
檜山	28,792	547	28,246	胆振	30,512	85,309	-54,797
後志	27,736	30,519	-2,783	日高	14,295	9,612	4,683
空知	37,842	116,384	-78,541	十勝	132,635	54,488	78,146
上川	86,162	109,037	-22,875	釧路	18,017	22,619	-4,602
留萌	14,986	3,159	11,827	根室	9,067	21,766	-12,699
				全道	642,028	673,956	-31,929

需給バランス推計結果 (⑤動植物性残さ)

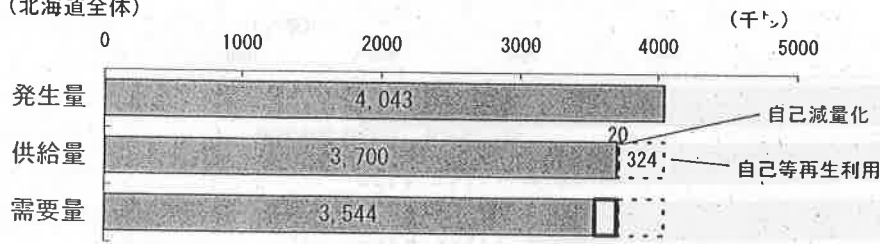


(単位: t)

支庁	供給量	需要量	需給バランス	支庁	供給量	需要量	需給バランス
石狩	29,594	38,779	-9,185	宗谷	29,818	20,313	9,506
渡島	34,670	3,607	31,064	網走	75,470	67,999	7,472
檜山	5,670	52	5,618	胆振	31,394	22,327	9,067
後志	15,699	23,085	-7,386	日高	747	2,661	-1,913
空知	9,317	10,853	-1,536	十勝	35,167	46,918	-11,751
上川	7,531	3,875	3,656	釧路	2,944	3,765	-821
留萌	3,925	27	3,897	根室	15,391	19,909	-4,518
				全道	297,339	264,170	33,169

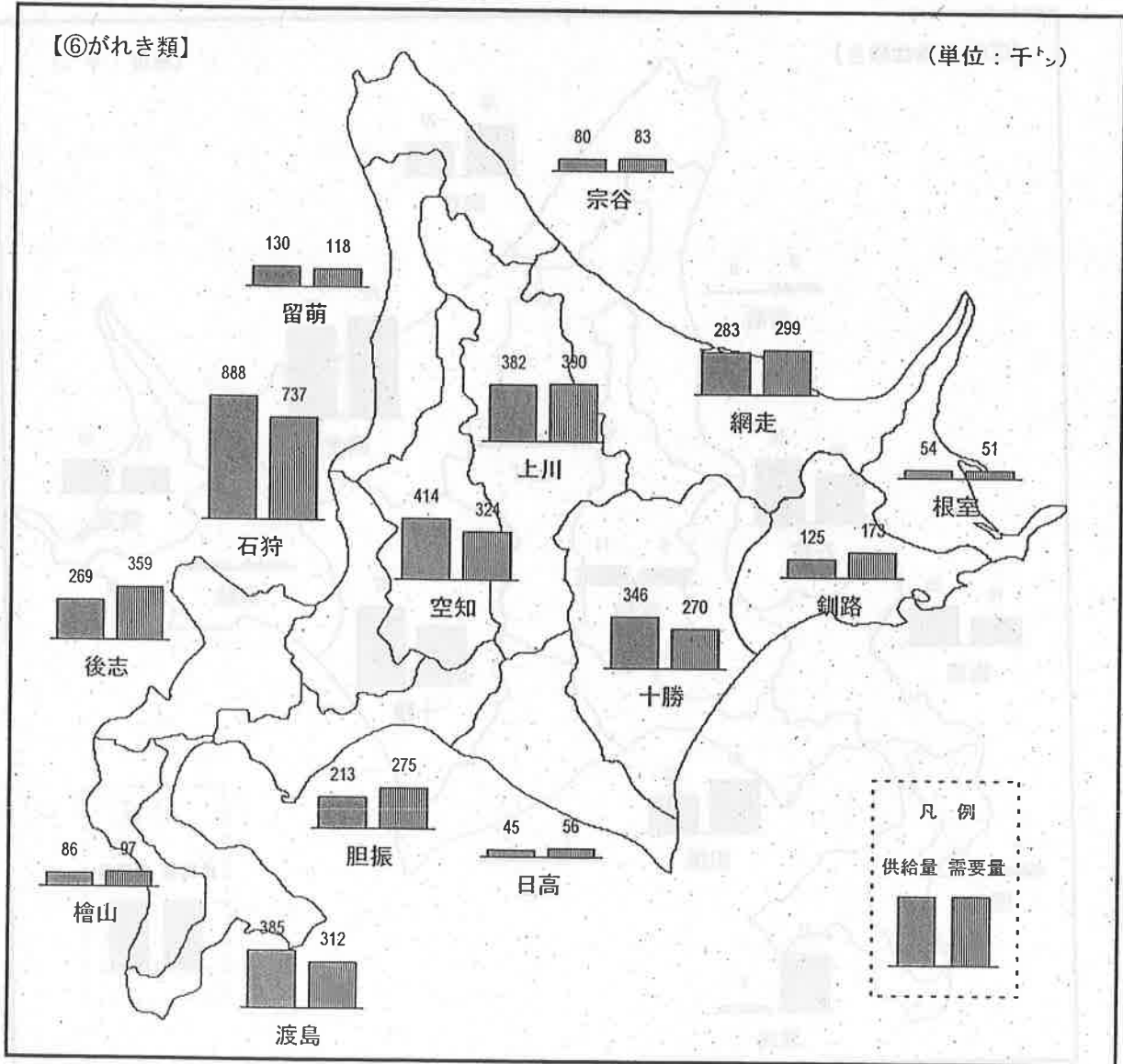
需給バランス推計結果 (㊦がれき類)

(北海道全体)



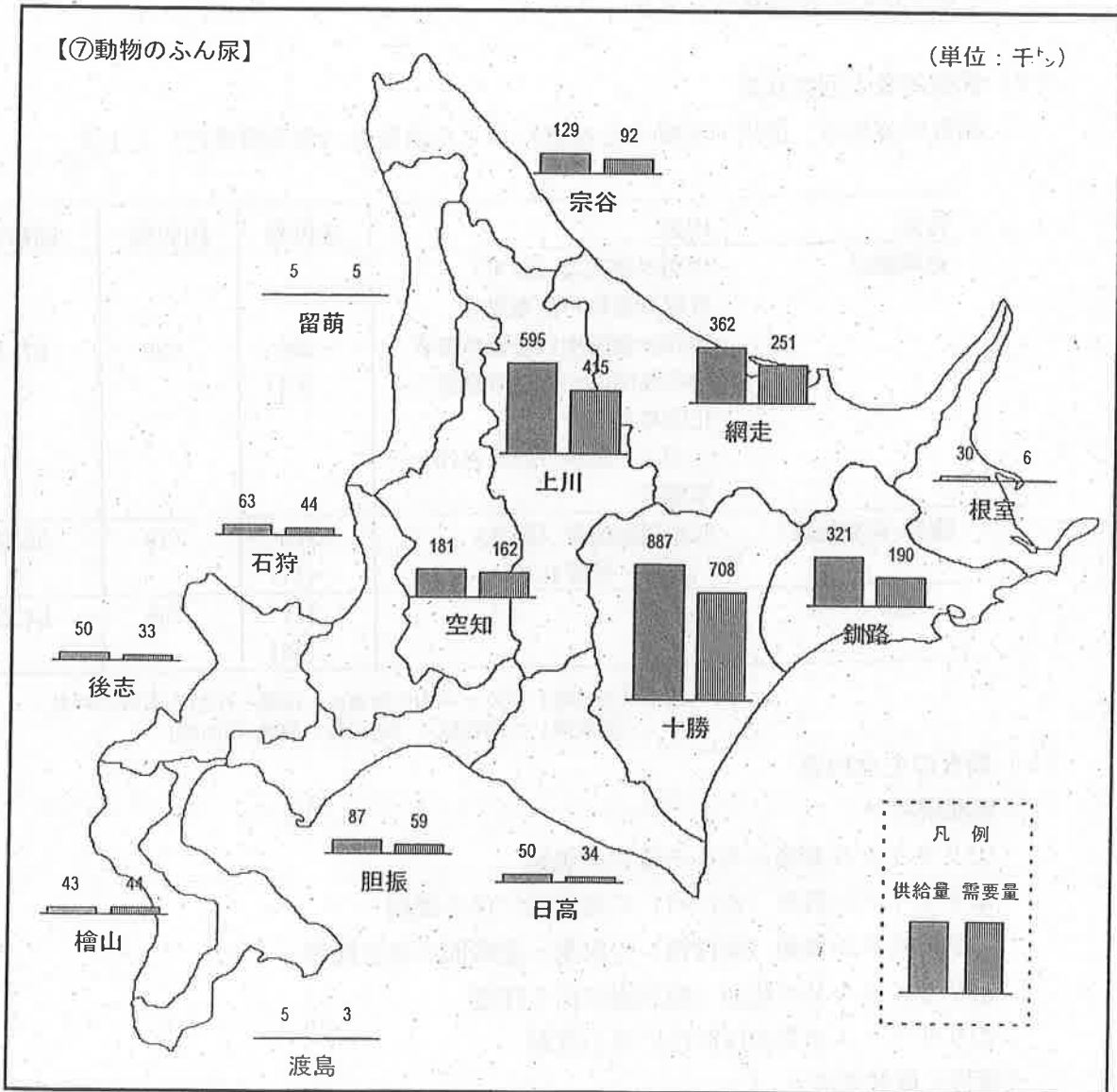
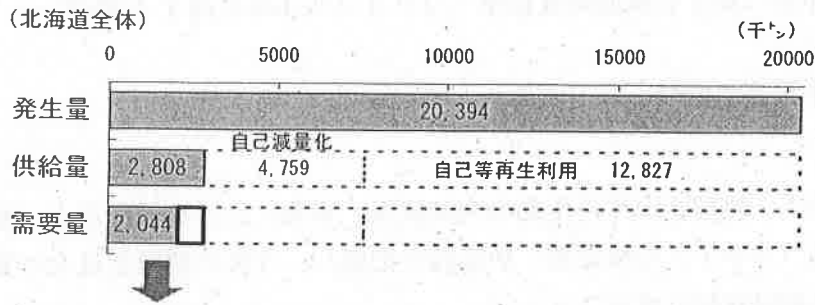
【㊦がれき類】

(単位：千ト)



(単位：ト)							
支庁	供給量	需要量	需給バランス	支庁	供給量	需要量	需給バランス
石狩	888,027	737,416	150,611	宗谷	80,003	83,052	-3,049
渡島	384,520	311,773	72,746	網走	282,566	298,520	-15,954
檜山	85,860	97,034	-11,174	胆振	212,876	275,312	-62,436
後志	269,415	358,697	-89,281	日高	45,343	56,128	-10,785
空知	413,672	324,235	89,437	十勝	346,152	269,646	76,507
上川	382,247	390,021	-7,774	釧路	125,258	173,186	-47,928
留萌	130,469	117,649	12,821	根室	53,810	51,313	2,497
				全道	3,700,218	3,543,982	156,236

需給バランス推計結果 (㊦動物のふん尿)



(単位：t)

支庁	供給量	需要量	需給バランス	支庁	供給量	需要量	需給バランス
石狩	63,226	43,636	19,590	宗谷	129,056	92,182	36,874
渡島	4,602	2,877	1,725	網走	362,396	251,024	111,372
檜山	43,112	44,149	-1,037	胆振	86,795	58,776	28,019
後志	50,179	32,770	17,409	日高	49,989	34,408	15,581
空知	180,520	162,084	18,436	十勝	886,972	707,991	178,982
上川	594,883	414,573	180,310	釧路	320,761	189,576	131,185
留萌	4,655	4,767	-112	根室	30,377	5,602	24,775
				全道	2,807,523	2,044,414	763,110

## 2 リサイクル関連事業に関する実態調査結果（リサイクル事業に関する課題）

### 2.1 アンケート調査の概要

#### (1) 調査の目的

循環資源の受入・処理状況や再生品の生産状況、事業における課題など、循環資源を受け入れる側（リサイクル事業者）の実態を把握し、今後の循環型社会の形成に向けた施策検討の基礎資料とする。

#### (2) 調査対象と回収状況

調査の対象は、道内で活動する次表に示した事業者（事業所単位）とした。

区分	内容	送付数	回収数	回収率
処理施設	・中間処理業者（許可） ・登録廃棄物再生事業者 ・情報交換制度の登録事業者 ・農水産関連の処理事業者 ・化製事業者 ・メディア記事で紹介された事業者	996 (61)	629	67.3%
積替・保管施設	・収集運搬業者（許可） （積替・保管有り）	315 (11)	170	55.9%
合計		1,311 (72)	799	64.5%

注：「送付数」のカッコ内の数値は、廃業・住所不明等の件数。  
「回収率」＝回収数÷（送付数－廃業・不明等）

#### (3) 調査の主な内容

<処理業者>

- ①リサイクル事業における最大の課題
- ②リサイクル資源（原材料）の確保面に係る課題
- ③リサイクル資源（原材料）の収集・運搬面に係る課題
- ④リサイクル品の流通・販売面に係る課題
- ⑤リサイクル事業の採算性に係る課題

<積替・保管業者>

- ⑥積替・保管施設の運営に当たっての課題

#### (4) 調査の実施時期

平成15年10月末～平成16年2月中旬

## 2. 2 アンケート調査の結果

### (1) 循環資源の取扱について

#### ①循環資源の取扱の有無

	計	
1 扱っている	631	79.0%
2 扱っていない	168	21.0%
計	799	100.0%

→「扱いなし」

#### ②循環資源の取扱の方法

	計	
1 製品・原材料・燃料にする (処理)	543	86.1%
2 積替・保管+選別作業	31	4.9%
3 積替・保管のみ	57	9.0%
計	631	100.0%

→「処理」

→「収運」

#### 地域別事業所数 (支庁単位)

	扱っている		扱いなし	計
	処理	収運		
1 石狩	89	22	37	148
2 渡島	29	3	8	40
3 檜山	8	1	1	10
4 後志	24	6	6	36
5 空知	51	6	15	72
6 上川	70	11	17	98
7 留萌	12	1	5	18
8 宗谷	13	4	12	29
9 網走	63	5	16	84
10 胆振	55	15	22	92
11 日高	21	1		22
12 十勝	55	9	13	77
13 釧路	38	4	12	54
14 根室	15		4	19
計	543	88	168	799

#### ③扱っている循環資源 (複数回答)

	処理		収運	
	処理	収運	処理	収運
1 燃え殻	7	2	0.7%	1.0%
2 汚泥	57	5	5.8%	2.5%
3 廃油	37	20	3.7%	9.9%
4 廃プラスチック類	115	40	11.6%	19.8%
5 木くず	129	13	13.0%	6.4%
6 動植物性残さ	48	4	4.8%	2.0%
7 動物系固形不要物	4	0	0.4%	0.0%
8 金属くず	126	48	12.7%	23.8%
9 ガラス・コンクリート・陶磁器くず	110	24	11.1%	11.9%
10 鉱さい	7	0	0.7%	0.0%
11 がれき類	232	15	23.4%	7.4%
12 動物のふん尿	35	2	3.5%	1.0%
13 動物の死体	5	2	0.5%	1.0%
14 ばいじん	3	1	0.3%	0.5%
15 その他	75	26	7.6%	12.9%
計	990	202	100.0%	100.0%

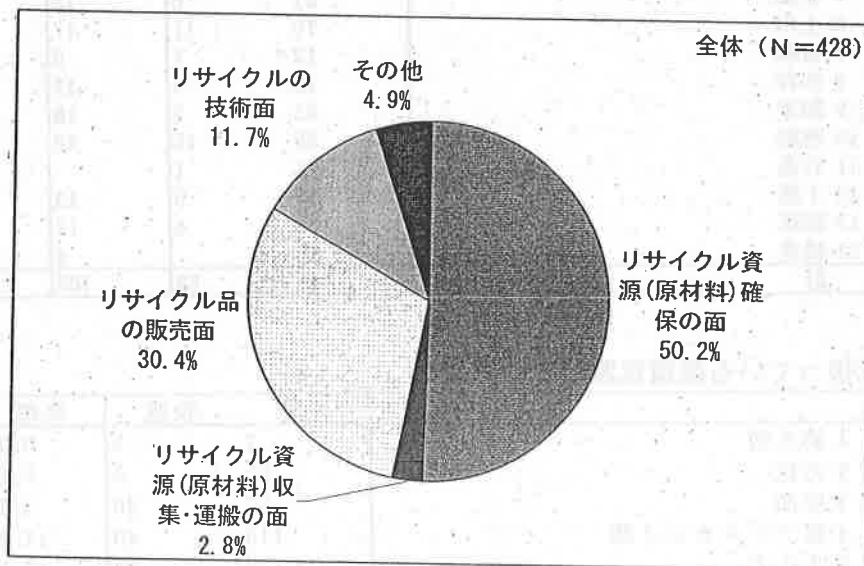
(2) リサイクル事業の課題について

<処理事業者>

①リサイクル事業における最大の課題（単回答）（有効回答：428件）

取扱循環資源の種類	リサイクル資源(原材料)確保の面	リサイクル資源(原材料)収集・運搬の面	リサイクル品の販売面	リサイクルの技術面	その他	計 (不明を除く) ( )内は件数
1. 燃え殻	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100% (5)
2. 汚泥	29.2%	0.0%	25.0%	33.3%	12.5%	100% (24)
3. 廃油	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	100% (15)
4. 廃プラスチック類	44.7%	8.5%	29.8%	8.5%	8.5%	100% (47)
5. 木くず	41.8%	1.8%	32.7%	21.8%	1.8%	100% (55)
6. 動植物性残さ	28.0%	12.0%	32.0%	12.0%	16.0%	100% (25)
7. 動物系固形不要物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100% (1)
8. 金属くず	59.0%	2.6%	20.5%	15.4%	2.6%	100% (39)
9. ガラス・コンクリート・陶磁器くず	66.7%	5.6%	16.7%	11.1%	0.0%	100% (18)
10. 鉱さい	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100% (1)
11. がれき類	61.2%	0.0%	33.1%	3.4%	2.2%	100% (178)
12. 動物のふん尿	0.0%	18.2%	36.4%	18.2%	27.3%	100% (11)
13. 動物の死体						(0)
14. ばいじん						(0)
15. その他	44.4%	0.0%	33.3%	22.2%	0.0%	100% (9)
全体	50.2%	2.8%	30.4%	11.7%	4.9%	100% (428)

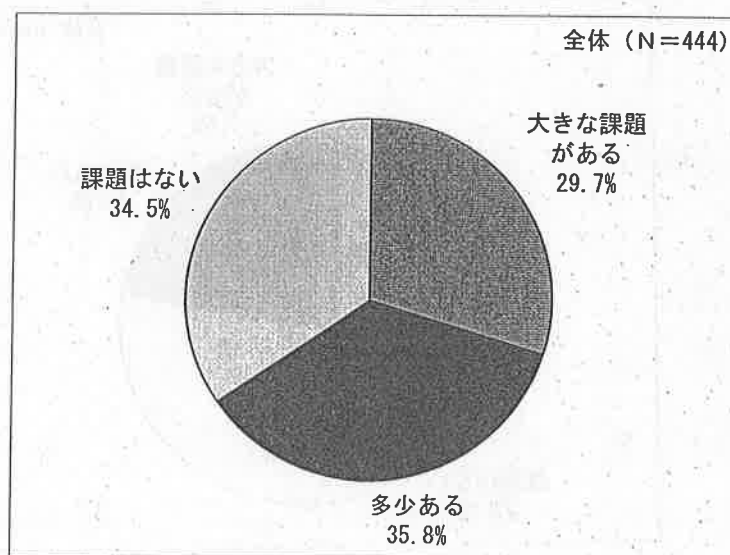
注：1事業所で複数種類の循環資源の取扱いがある場合は、主たる資源で代表させている。（以下同じ）





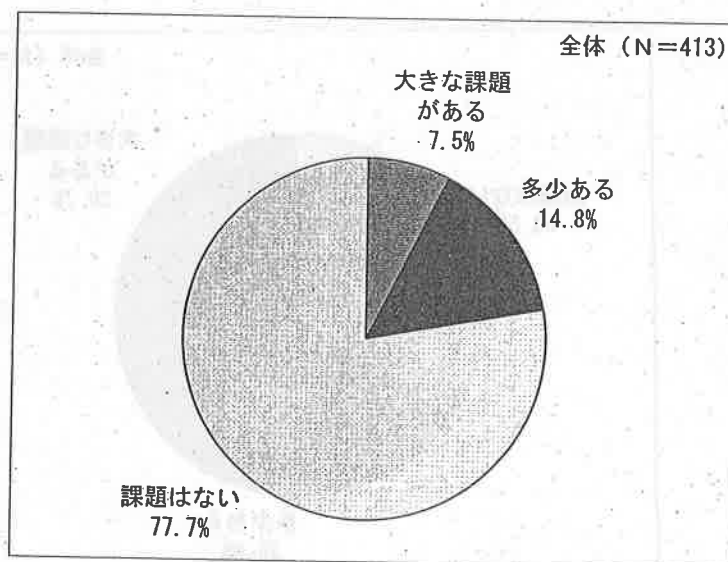
②リサイクル資源（原材料）の確保面に係る課題（単回答）（有効回答：444件）

取扱循環資源の種類	大きな課題がある	多少ある	課題はない	計（不明を除く） （ ）は件数
1. 燃え殻	20.0%	20.0%	60.0%	100% (5)
2. 汚泥	17.4%	30.4%	52.2%	100% (23)
3. 廃油	28.6%	50.0%	21.4%	100% (14)
4. 廃プラスチック類	30.6%	38.8%	30.6%	100% (49)
5. 木くず	28.6%	44.6%	26.8%	100% (56)
6. 動植物性残さ	29.0%	25.8%	45.2%	100% (31)
7. 動物系固形不要物	0.0%	0.0%	100.0%	100% (1)
8. 金属くず	31.3%	37.5%	31.3%	100% (48)
9. ガラス・コンクリート・陶磁器くず	33.3%	33.3%	33.3%	100% (18)
10. 鉱さい	100.0%	0.0%	0.0%	100% (1)
11. がれき類	32.4%	35.2%	32.4%	100% (176)
12. 動物のふん尿	0.0%	38.5%	61.5%	100% (13)
13. 動物の死体				(0)
14. ばいじん				(0)
15. その他	44.4%	11.1%	44.4%	100% (9)
全体	29.7%	35.8%	34.5%	100% (444)



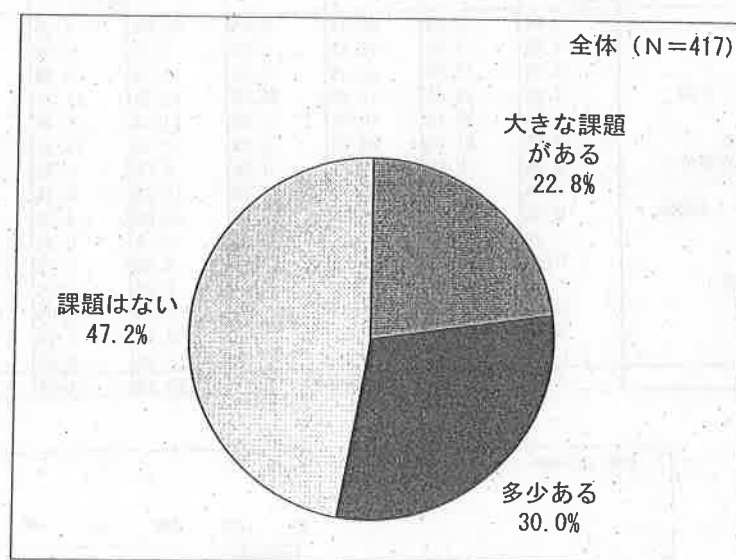
③リサイクル資源（原材料）の収集・運搬面に係る課題（単回答）（有効回答：413件）

取扱循環資源の種類	大きな課題がある	多少ある	課題はない	計（不明を除く） （ ）内は件数
1. 燃え殻	0.0%	20.0%	80.0%	100% (5)
2. 汚泥	9.1%	9.1%	81.8%	100% (22)
3. 廃油	16.7%	8.3%	75.0%	100% (12)
4. 廃プラスチック類	6.5%	26.1%	67.4%	100% (46)
5. 木くず	9.8%	7.8%	82.4%	100% (51)
6. 動植物性残さ	3.6%	25.0%	71.4%	100% (28)
7. 動物系固形不要物	0.0%	0.0%	100.0%	100% (1)
8. 金属くず	20.0%	15.6%	64.4%	100% (45)
9. ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.0%	0.0%	100.0%	100% (16)
10. 鋳さい	100.0%	0.0%	0.0%	100% (1)
11. がれき類	4.2%	13.9%	81.8%	100% (165)
12. 動物のふん尿	0.0%	15.4%	84.6%	100% (13)
13. 動物の死体				(0)
14. ばいじん				(0)
15. その他	12.5%	25.0%	62.5%	100% (8)
全体	7.5%	14.8%	77.7%	100% (413)



④-1 リサイクル品の流通・販売面に係る課題（単回答）（有効回答：417件）

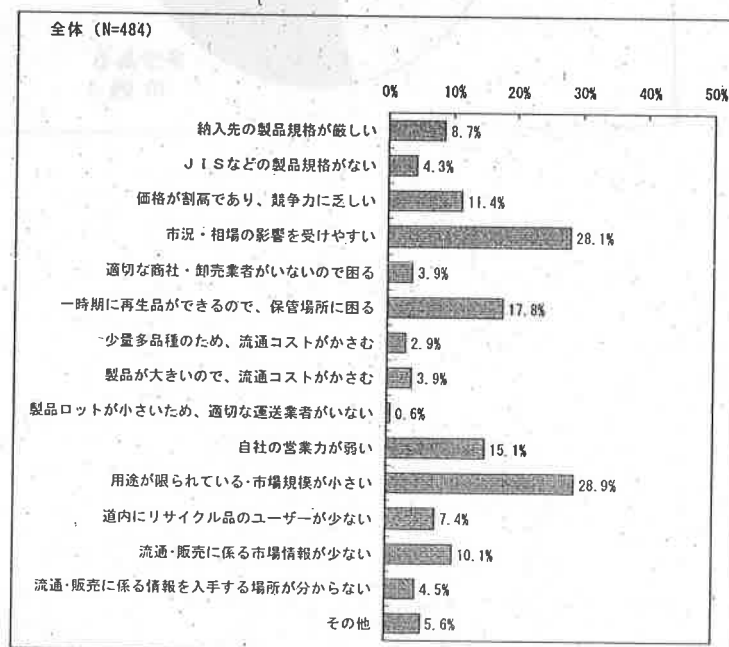
取扱循環資源の種類	大きな課題がある	多少ある	課題はない	計（不明を除く） （ ）内は件数
1. 燃え殻	0.0%	60.0%	40.0%	100% (5)
2. 汚泥	15.0%	35.0%	50.0%	100% (20)
3. 廃油	33.3%	25.0%	41.7%	100% (12)
4. 廃プラスチック類	15.2%	30.4%	54.3%	100% (46)
5. 木くず	26.9%	36.5%	36.5%	100% (52)
6. 動植物性残さ	27.6%	31.0%	41.4%	100% (29)
7. 動物系固形不要物	0.0%	0.0%	100.0%	100% (1)
8. 金属くず	29.3%	29.3%	41.5%	100% (41)
9. ガラス・コンクリート・陶磁器くず	11.8%	11.8%	76.5%	100% (17)
10. 鋳さい	100.0%	0.0%	0.0%	100% (1)
11. がれき類	23.8%	28.5%	47.7%	100% (172)
12. 動物のふん尿	15.4%	30.8%	53.8%	100% (13)
13. 動物の死体				(0)
14. ばいじん				(0)
15. その他	12.5%	37.5%	50.0%	100% (8)
全体	22.8%	30.0%	47.2%	100% (417)



④-2 リサイクル品の流通・販売面に係る課題（詳細）（複数回答）（有効回答：484件）

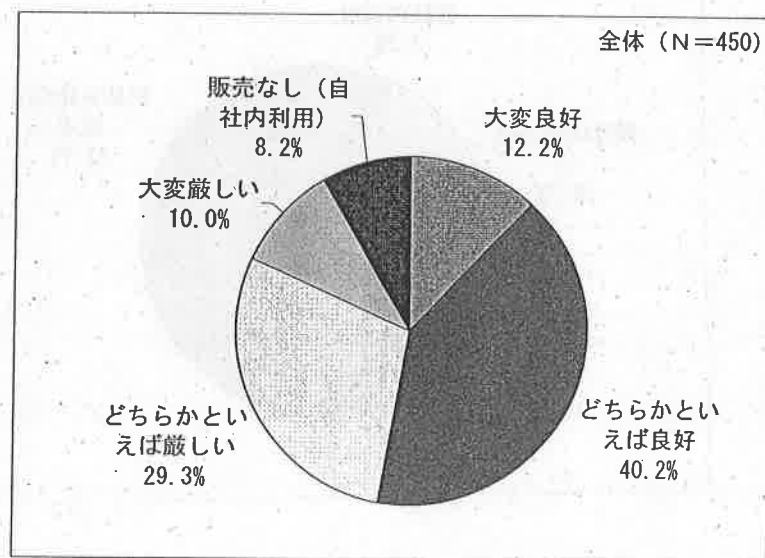
取扱循環資源の種類	納入先の製品規格が厳しい	J I Sなどの製品規格がない	価格が割高であり、競争力に乏しい	市況・相場の影響を受けやすい	適切な商社・卸売業者がないので困る	一時期に再生品ができるので、保管場所に困る	少量多品種のため、流通コストがかさむ	製品が大きいのので、流通コストがかさむ
1. 燃え殻	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2. 汚泥	7.7%	3.8%	7.7%	0.0%	3.8%	11.5%	0.0%	3.8%
3. 廃油	11.8%	5.9%	11.8%	41.2%	5.9%	11.8%	5.9%	5.9%
4. 廃プラスチック類	13.2%	7.5%	11.3%	24.5%	1.9%	3.8%	7.5%	9.4%
5. 木くず	22.1%	2.9%	19.1%	30.9%	7.4%	14.7%	1.5%	0.0%
6. 動植物性残さ	6.3%	6.3%	21.9%	21.9%	6.3%	15.6%	0.0%	6.3%
7. 動物系固形不要物	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8. 金属くず	2.0%	2.0%	10.2%	71.4%	8.2%	4.1%	8.2%	10.2%
9. ガラス・コンクリート・陶磁器くず	25.0%	20.0%	15.0%	25.0%	10.0%	10.0%	5.0%	5.0%
10. 鉱さい	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11. がれき類	3.8%	2.2%	6.5%	21.7%	1.1%	28.3%	0.0%	1.1%
12. 動物のふん尿	0.0%	0.0%	21.4%	0.0%	7.1%	50.0%	0.0%	7.1%
13. 動物の死体	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14. ばいじん	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. その他	0.0%	0.0%	9.1%	54.5%	0.0%	9.1%	27.3%	9.1%
全体	8.7%	4.3%	11.4%	28.1%	3.9%	17.8%	2.9%	3.9%

取扱循環資源の種類	製品ロットが小さいため、適切な運送業者がない	自社の営業力が弱い	用途が限られている・市場規模が小さい	道内にリサイクル品のユーザーが少ない	流通・販売に係る市場情報が少ない	流通・販売に係る情報を入手する場所が分からない	その他	総数
1. 燃え殻	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100%
2. 汚泥	3.8%	7.7%	38.5%	3.8%	7.7%	0.0%	3.8%	100%
3. 廃油	0.0%	17.6%	47.1%	5.9%	5.9%	0.0%	5.9%	100%
4. 廃プラスチック類	1.9%	24.5%	41.5%	28.3%	13.2%	11.3%	9.4%	100%
5. 木くず	1.5%	22.1%	50.0%	7.4%	13.2%	7.4%	10.3%	100%
6. 動植物性残さ	0.0%	21.9%	34.4%	6.3%	9.4%	15.6%	18.8%	100%
7. 動物系固形不要物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
8. 金属くず	0.0%	18.4%	10.2%	6.1%	10.2%	6.1%	2.0%	100%
9. ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.0%	15.0%	35.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100%
10. 鉱さい	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100%
11. がれき類	0.0%	10.3%	22.3%	2.7%	7.6%	1.1%	1.1%	100%
12. 動物のふん尿	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	7.1%	100%
13. 動物の死体	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
14. ばいじん	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
15. その他	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	18.2%	0.0%	18.2%	100%
全体	0.6%	15.1%	28.9%	7.4%	10.1%	4.5%	5.6%	100%



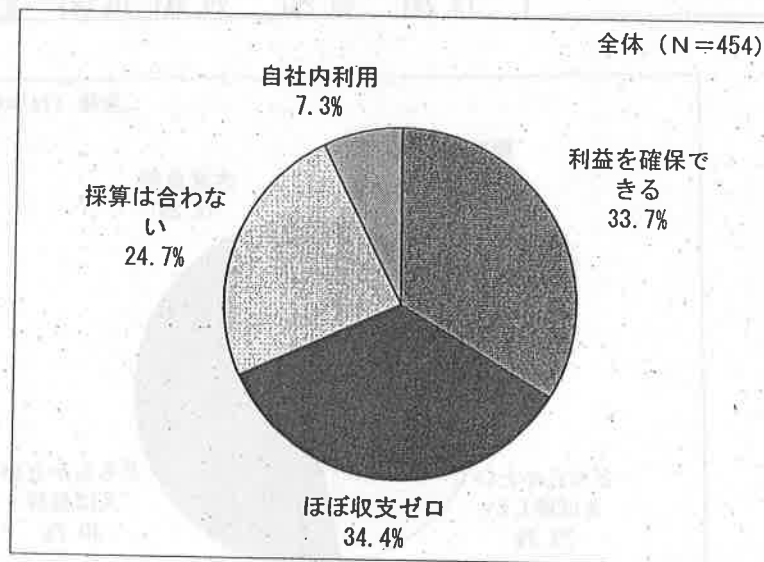
④-3 リサイクル品の流通・販売面に係る課題（販売状況）（単回答）  
 （有効回答：450件）

取扱循環資源の種類	大変良好	どちらか といえば 良好	どちらか といえば 厳しい	大変厳 しい	販売なし （自社内 利用）	計（不明を除く） （ ）内は件数
1. 燃え殻	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100% (5)
2. 汚泥	4.0%	28.0%	24.0%	12.0%	32.0%	100% (25)
3. 廃油	0.0%	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	100% (14)
4. 廃プラスチック類	22.9%	35.4%	20.8%	12.5%	8.3%	100% (48)
5. 木くず	12.1%	37.9%	37.9%	8.6%	3.4%	100% (58)
6. 動植物性残さ	6.5%	48.4%	19.4%	16.1%	9.7%	100% (31)
7. 動物系固形不要物	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100% (1)
8. 金属くず	6.5%	56.5%	23.9%	13.0%	0.0%	100% (46)
9. ガラス・コンクリート・陶磁器くず	22.2%	61.1%	5.6%	11.1%	0.0%	100% (18)
10. 鉱さい	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100% (1)
11. がれき類	12.6%	37.9%	32.4%	8.2%	8.8%	100% (182)
12. 動物のふん尿	9.1%	36.4%	36.4%	0.0%	18.2%	100% (11)
13. 動物の死体						(0)
14. ばいじん						(0)
15. その他	0.0%	50.0%	40.0%	0.0%	10.0%	100% (10)
全体	12.2%	40.2%	29.3%	10.0%	8.2%	100% (450)



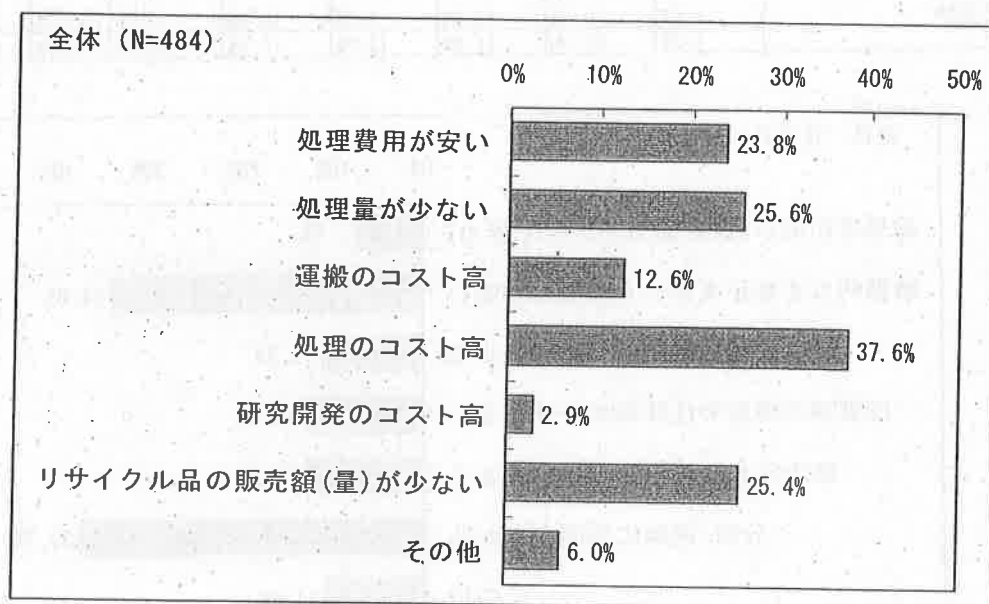
⑤-1 リサイクル事業の採算性に係る課題（単回答）（有効回答：454件）

取扱循環資源の種類	利益を確保できる	ほぼ収支ゼロ	採算は合わない	自社内利用	計（不明を除く） （ ）内は件数
1. 燃え殻	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100% (5)
2. 汚泥	23.1%	23.1%	34.6%	19.2%	100% (26)
3. 廃油	60.0%	26.7%	13.3%	0.0%	100% (15)
4. 廃プラスチック類	39.6%	31.3%	27.1%	2.1%	100% (48)
5. 木くず	21.1%	38.6%	38.6%	1.8%	100% (57)
6. 動植物性残さ	26.7%	30.0%	33.3%	10.0%	100% (30)
7. 動物系固形不要物	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100% (1)
8. 金属くず	68.8%	18.8%	12.5%	0.0%	100% (48)
9. ガラス・コンクリート・陶磁器くず	22.2%	44.4%	33.3%	0.0%	100% (18)
10. 鉱さい	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100% (1)
11. がれき類	28.3%	39.7%	20.7%	11.4%	100% (184)
12. 動物のふん尿	8.3%	50.0%	25.0%	16.7%	100% (12)
13. 動物の死体					(0)
14. ばいじん					(0)
15. その他	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	100% (9)
全体	33.7%	34.4%	24.7%	7.3%	100% (454)



⑤-2 リサイクル事業の採算性に係る課題（詳細）（複数回答）（有効回答：484件）

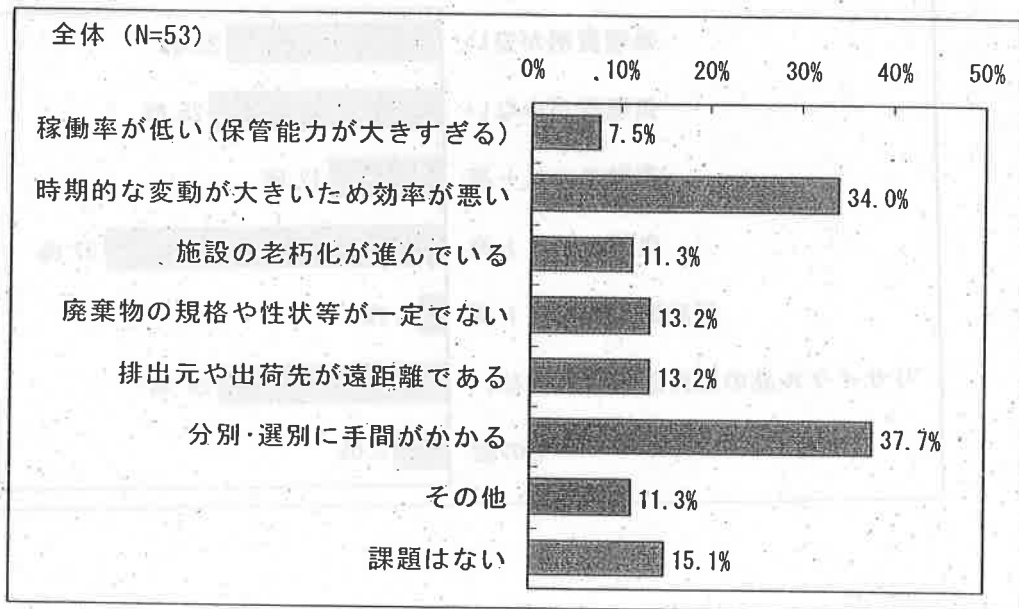
取扱循環資源の種類	処理費用が安い	処理量が少ない	運搬のコスト高	処理のコスト高	研究開発のコスト高	リサイクル品の販売額(量)が少ない	その他	総数
1. 燃え殻	20.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100%
2. 汚泥	30.8%	15.4%	7.7%	34.6%	11.5%	26.9%	0.0%	100%
3. 廃油	17.6%	5.9%	11.8%	41.2%	0.0%	41.2%	0.0%	100%
4. 廃プラスチック類	24.5%	18.9%	28.3%	37.7%	1.9%	20.8%	7.5%	100%
5. 木くず	32.4%	25.0%	5.9%	42.6%	4.4%	20.6%	2.9%	100%
6. 動植物性残さ	18.8%	25.0%	12.5%	40.6%	12.5%	25.0%	6.3%	100%
7. 動物系固形不要物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
8. 金属くず	14.3%	12.2%	28.6%	38.8%	0.0%	10.2%	16.3%	100%
9. ガラス・コンクリート・陶磁器くず	35.0%	25.0%	20.0%	30.0%	0.0%	10.0%	15.0%	100%
10. 鉱さい	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
11. がれき類	24.5%	37.5%	3.8%	37.0%	1.6%	34.8%	4.9%	100%
12. 動物のふん尿	7.1%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%	21.4%	0.0%	100%
13. 動物の死体	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
14. ばいじん	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
15. その他	18.2%	9.1%	54.5%	36.4%	0.0%	9.1%	9.1%	100%
全体	23.8%	25.6%	12.6%	37.6%	2.9%	25.4%	6.0%	100%



<積替・保管業者>

⑥積替・保管施設の運営に当たっての課題（複数回答）（有効回答：53件）

取扱循環資源の種類	稼働率が低い(保管能力が大きすぎる)	時期的な変動が大きいため効率が悪い	施設の老朽化が進んでいる	廃棄物の規格や性状等が一定でない	排出元や出荷先が遠距離である	分別・選別に手間がかかる	その他	課題はない	総数
1. 燃え殻									
2. 汚泥	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	100%
3. 廃油	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	100%
4. 廃プラスチック類	6.3%	50.0%	12.5%	12.5%	25.0%	25.0%	6.3%	6.3%	100%
5. 木くず									
6. 動植物性残さ	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
7. 動物系固形不要物									
8. 金属くず	10.0%	40.0%	10.0%	5.0%	5.0%	60.0%	15.0%	10.0%	100%
9. ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
10. 鋳さい									
11. がれき類	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	100%
12. 動物のふん尿									
13. 動物の死体	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
14. ばいじん									
15. その他	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	33.3%	100%
全体	7.5%	34.0%	11.3%	13.2%	13.2%	37.7%	11.3%	15.1%	100%







循環的利用施設の整備促進に向けた基本的な考え方  
～効果的かつ効率的な施設整備を目指して～

---

平成16年4月

北海道環境生活部環境室循環型社会推進課

〒060-8588 札幌市中央区北3西6

TEL 011-231-4111 内線 24-318

FAX 011-232-4970

---